



令和 5 年を上回る葉色低下!!出 穂 期 前 に追 加 の穂 肥 を!!

過去最も品質低下を受けた令和 5 年以上に高温かつ雨が 少ない状況です!走り穂が出ていても追加の穂肥を!!

- (1)コシヒカリの葉色が淡いほ場では、下表を参考に出穂期前に窒素成分 $1\sim2$ kg/10a を目安に追加の穂肥を施用してください(出穂期の葉色目安:SPAD 値 33)。
- (2)全量基肥施肥のほ場でも、葉色が淡い場合は追加の穂肥を施用してください。
- (3)施用効果を高めるために、飽水管理を徹底しましょう。

品質向上のため、もうひと踏ん張り お願いします!!

【 コシヒカリ 5 割減減栽培における追加穂肥の目安 】

施肥条件		判断時期と	残りのトータル	使用肥料 例	10a あたり施用目安
		葉色値の目安	化学窒素量		*()内は有機含む全窒素量
分施	3回目 穂肥	出穂期3日前 葉色値 31 以下	0.5~1.0 Nkg	ドローン用尿素 43 ※1	出穂期3日前
					1.1kg(0.5Nkg)~
					2.3kg(1.0Nkg)
		出穂期6日前 葉色値 33 以下	0.5 Nkg	越後の輝き	出穂期3日前
				有機 50 穂肥 ※1	8.3kg(1.0Nkg)
				さんとう穂肥有機 ※1	出穂期3日前
					4.0kg(0.56Nkg)
			0 Nkg	みらい有機831 ※2	出穂期6~3日前
					12.5kg(1.0Nkg)
全量基肥	追肥	出穂期の葉色値が	0.5~1.0 Nkg	ドローン用尿素 43 ※1	出穂期 10 日前
		32~33を下回る			1.1kg(0.5Nkg)~
		と予想されるとき			2.3kg(1.0Nkg)
		出穂期 10 日前後	0 Nkg	みらい有機 831 ※2	出穂期 10~5 日前
		葉色値 30 以下			25kg(2.0Nkg)

- ※1 トータル化学窒素 3.5kg/10a 以内で施用してください
- ※2 他の有機質 100%肥料でも代替可能です(例:鶏ちゃんパワー など)

緊急告知 8/2(土)のみ、あぐりセンター臨時営業いたします!

さんとう地区ではこの度、穂肥時期の急激な葉色低下が稲に与える影響を重く受け止め、

当初は各あぐりセンターの8月2日(土)~8月17日(日)の土・日・祝日の休業を予定しており

ましたが、緊急対策として 8月2日(土)午前 時間帯のみ 臨時営業 いたします!

コシヒカリを中心とした中生〜晩生品種の品質向上を目指し、是非ご利用ください!!



裏面のフェーン・異常高温緊急情報(新潟県)もご確認ください!



フェーン・異常高温緊急情報 第1号

令和7年7月29日 新潟県農林水産部

7月30日~8月4日は高温・乾燥のおそれ

飽水管理を継続・水分保持!

気象状況



- 新潟地方気象台が7月28日11時に発表した「新 潟県の天気予報(7日先まで)」では、7月30日 から最高気温は32~38°C、最低気温は24~28°Cと 高温が予報されています。
- また、台風の進路によっては高温・乾燥条件が発 生するおそれがあります。

出典:気象庁ホームページ

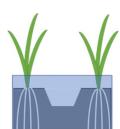
気象庁「台風情報・全ての台風(台風経路図)」を加工して作成 (https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/35.258/143.424 /&elem=root&typhoon=all&contents=typhoon)

当面の管理対策

- ○コシヒカリは出穂期と重なり、白穂や不稔が発生しやすい時期です。こしいぶきは、変色籾や白未熟粒が発生しやすい時期です。
- ○水が行き渡ったら速やかに水口を止めましょう。

飽水管理のイメージ

浅く湛水する



給水と自然減を 繰り返す





足跡や溝の底に 水が残る程度ま で水位が減少し てから給水する

策を必ず行い、健康管理に 十分注意しましょう。

農業用水は限りある資源です。地域全体で大切に使いましょう。 かけ流しは絶対にやめましょう。

フェーン現象については、**気象庁ホームページを参照してください**。 (https://www.data.jma.go.jp/cpd/j_climate/hokuriku/column01.html)